

本校の現状と▲課題

- ◆ 目黒区学力学習状況調査および体力テストの結果
学力 | 区内では中位へ向上 体力 | 低下傾向
▲学校全体としての学力の維持・向上、体力向上が課題
- ◆ 四者(児童・保護者・地域・教員)の学校評価結果
保護者全家庭の74%回答 概ね肯定的評価上昇
▲保護者評価「心の教育」に関する肯定的評価下降
▲地域・保護者評価「情報発信」に関する肯定的評価下降



よく考えて進んで行う子

今年度の取組

- ◆ 特色ある取組を具現化し、13の取組を実践
→(知)自己調整力向上・・・田Qタイム、ホップタイム等
→(徳)思いやりの心の醸成・・・異学年交流、ペア清掃等
→(体)体力向上への意欲向上・・・フィジカルタイム等
- ◆ 行事の見直し・・・運動会(秋→春へ)、10月研究発表会
- ◆ 一部教科担任制導入(6年生)
- ◆ 読書活動推進・・・①図書ボランティア発足→読み聞かせ
②読み放題型電子図書「Yomokka!」等導入(保護者負担)

- 1 田Qタイム | 学びの動機付けや幅広い資質・能力を育成する
- 2 ホップタイム | 学習方法や進度を選択・調整しながら取り組む
- 3 学びの目標と見通し | 一人ひとりが学びの振り返り来週の予定をスケジューリング

- 4 サービス・ラーニング | 地域社会の一員として、自主的、自立的に解決に向かう活動
- 5 教育活動支援員活用 | 児童一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度等に
応じた学習

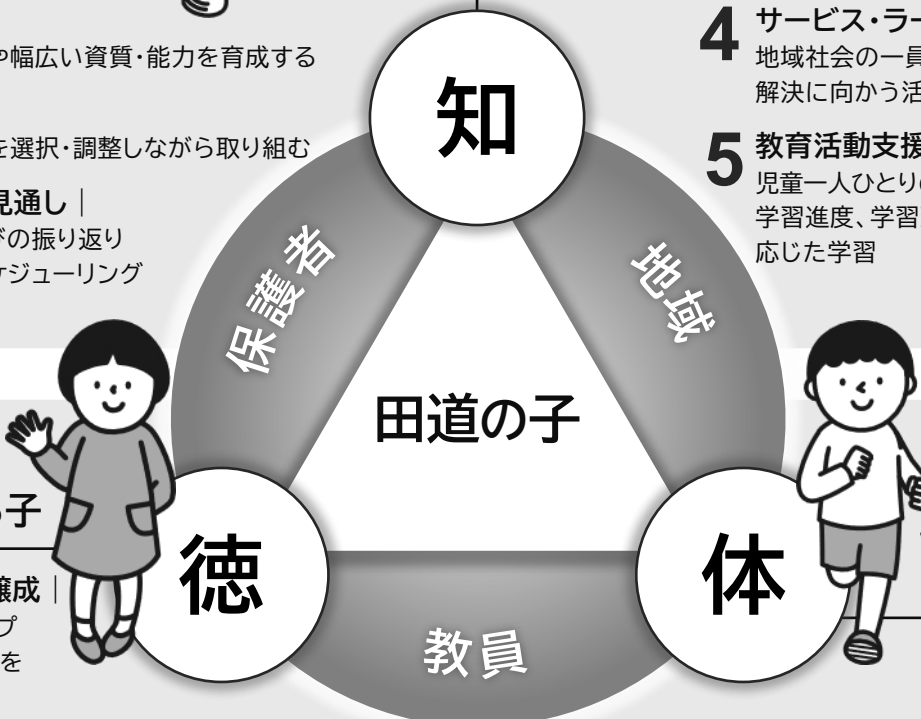


心ゆたかで
思いやりのある子

- 6 異年齢集団の醸成 | ファミリーグループワークやペア清掃を計画的に実施
- 7 人権教育・道徳教育の充実 | 児童および地域を含めた様々な立場・年齢の方々との意見交流
- 8 いじめ防止教育の充実 | いじめの早期発見と対応の促進を図るため、学校生活アンケートを毎月、第1週目に実施
- 9 特別支援教育の推進 | 相互理解や思いやりの気持ちを大切に
する人格形成、副籍制度に基づく交流及び
共同学習の計画的実施
- 10 共感的な人間関係構築 | 生み出した時間であるDDT(田道タイム)の一部を活用して、児童集会及び縦割り班活動を毎月実施

- 11 健康教育の推進 | 運動への苦手意識をなくし、基礎的な体力の向上を図るため、学校健康トレーナーと連携して、一人ひとりの課題に応じた運動指導実施
- 12 運動に親しむ態度育成 | 毎月、DDT(田道タイム)の一部を活用して体力アップタイム(教員考案のフィジカルタイム)を実施
- 13 食育活動の充実 | 食に関する正しい知識を身に付け、自ら健康管理ができる力を養うため、栄養バランスの良い献立や日本各地・世界各国の郷土料等の特別給食を提供

健康で最後まで
やりぬく子



今年度の『働き方改革』重点項目(業務改善モデル校実践校としての取組の継承と新たな取組)

校内研究・研修の充実

- ① 本区研究開発学校としての研究最終年
- ② 全教員での研究のまとめ・発表実践

組織力強化

- ① 職層ごとの職務意識向上、OJT研修の充実
- ② 各分掌の職務内容の見直し、見える化
- ③ 各会議の目的(協議および周知等の選別)共有とサイクル化
- ④ 主体的な会議の実施(必要な会議を必要な時に行えるよう、希望日を出し合い、調整)

業務改善継承

- ① 業務効率化による在校時間減少傾向の維持、拡大(ライフ・ワーク・バランスの推進)
- ② 適切な情報発信(Home & School、HPと紙での配付および発信時期の精査)

働き方改革の本来の目的達成に向けて

- 教員が子どもたちと向き合う時間を創出
- 心身の健康を保持する
- 誇りとやりがいをもって勤務できる環境の確保